

▶製品への反映については
34～41ページ「性能別製品一覧」も
ご確認ください。

耐摩耗性

■ 摩耗への耐性が高いと、床材の機能や美観をより長く維持できます

歩行者の多い商業施設やオフィスビルのエントランスや通路など、
床への摩耗によるダメージが多く想定される場所には、耐摩耗性に優れた床材がオススメです。
床材の美観を保てるうえ、床材の機能をより長く維持することができます。

▶床が摩耗する原因	歩行量	メンテナンス不足	土砂
▶耐摩耗性を必要とする場所	<ul style="list-style-type: none"> ●デパート、スーパー等、歩行者の多い商業施設 ●空港、駅舎等、高歩行量の場所 ●無人搬送車やフォークリフト等が走行する工場 	<ul style="list-style-type: none"> ●可動式手術台や医療機器等、重量物を移動する病院 ●体育館、公民館、イベントホール（移動観覧席部分） 	など

■ 耐摩耗性の分類

摩耗に対する耐性の強さによる分類基準			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">中</div> <div style="text-align: center; font-size: 0.8em;">歩行</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">重</div> <div style="text-align: center; font-size: 0.8em;">歩行</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40px; margin: 0 auto;">超重</div> <div style="text-align: center; font-size: 0.8em;">歩行</div>	<p>「摩耗指数」とは、摩耗試験で試験機が1000回転する間に加わる負荷によって削れた厚みから、有効層が摩滅するまでの回転数を予測した値。 数値が大きいほど、耐久性が高いことを示しています。</p> <p>重歩行：一般的な公共施設など、1日に数百人程度の利用者があるような場所に適します。 超重歩行：商業施設など、1日に数千人程度の利用者があるような場所に適します。</p>
摩耗指数 6,000未満	摩耗指数 6,000～11,999	摩耗指数 12,000以上	

■ 各種床材の耐摩耗性能比較（摩耗耐久性）

床材	タイプ	摩耗量 (mm)	摩耗指数 ^{*1}	10,000	20,000	30,000	分類
Pタイル (2.0mm)	コンポジションビニル床タイル	0.34	6,000	■			重歩行
マテイルNW/ウッドラインNW	複層ビニル床タイル	0.05	6,000	■			重歩行
パーマリュームEM	複層ビニル床シート	0.06	6,700	■			重歩行
タフゾーン	複層ビニル床シート	0.09	22,000	■	■		超重歩行
マーモリウム	リノリウム	0.17	11,800	■			重歩行
移動荷重用フロア	単層ビニル床シート	0.07	26,000	■	■	■	超重歩行

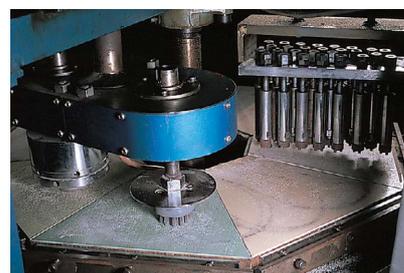
※この数値は測定値であり、保証値ではありません。

※1:摩耗指数:JIS A 1454の試験を1,000回転行った場合の摩耗量より、有効層がすべて摩滅するまでの回転数を求め、さらに床材の表面形状、材質の要因を加味して求めたもの。(エンボスの場合はマイナス補正等)

床材の「摩耗性（耐久性）」は、建築物の立地条件や使用される環境（とくに砂等の持込み等）と歩行量、履物の種類、メンテナンスの方法・頻度等により、大きく影響を受けます。上記分類や性能比較をご参考に、用途や場所に適した床材をお選びください。

試験方法（JIS A 1454「高分子系張り床材試験方法」の耐摩耗性試験に準拠）

試験体上に、散布砂を落下させつつ、摩擦鋼板、摩擦ブラシおよび打撃びょうの順序で回転円盤を毎分1回で回転させ、1,000回転後、試験前後の厚さの変化を測定する。



耐動荷重性(耐キャスター性)

▶製品への反映については
34～41ページ「性能別製品一覧」も
ご確認ください。

■キャスター付きの重量物が行き来する場所などに必要な性能

荷重が集中し、かつ移動するキャスター付きの重量物は、床のトラブルの原因になりがちです。
このような荷重に対して耐久性のある床材を選定することに加えて、
接着剤の選定や下地の状態などにも配慮が必要です。

双輪キャスター型ベッドに
ついての注意事項は以下の
リンクをご確認ください



NIF(日本インテリア協会)
「ビニル床シートの影れ」▶

▶床にトラブルが発生する原因	キャスター付き重量物の移動	床材の材料強度	下地、施工の状態
▶耐動荷重性 (耐キャスター性)を 必要とする場所	<ul style="list-style-type: none"> ●キャスター付きイスを利用する執務室 ●移動式ベッドが採用された病室 	<ul style="list-style-type: none"> ●キャスター付きの重量物が往来する廊下 ●生産施設(簡易クリーンルームなど) 	など

■耐動荷重性(耐キャスター性)の分類

キャスターによる荷重と異常が起こるまでの時間によって評価



耐動荷重性

(耐キャスター性)あり
異常発生までの時間が6時
間以上で、耐動荷重性に優
れるものを「耐動荷重性」
グレードとしています。

〈POINT〉

- ・荷重: 重量とキャスターの幅、材質により、床材、下地に加わる荷重が異なる。硬く、接地面が小さいほど厳しい。
- ・下地: 表面強度が十分であり、平滑で乾燥していること。また、荷重床プライマーの全面塗布により表面強化を行うことも可能。 ※くわしくは弊社支店・営業所までお問い合わせください。
- ・接着剤: エポキシ樹脂系接着剤を使用する。

■各種床材の耐動荷重性(耐キャスター性)

床材	厚さ (mm)	タイプ	接着剤	異常発生までの時間								異常の 状況
				1h	2h	3h	4h	5h	6h	7h	8h	
Pタイル	2.0	コンポジションビニル床タイル	セメントEP20	[Orange bar from 1h to 8h]								ふくれ
マティルNW/ウッドラインNW	3.0	複層ビニル床タイル	セメントEP20	[Orange bar from 1h to 2h]								ふくれ
パーマリュウムEM	2.0	複層ビニル床シート	セメントEP20	[Green bar from 1h to 1.5h]								ふくれ
タフゾーン	2.0	複層ビニル床シート	セメントEP20	[Green bar from 1h to 7h]								ふくれ
ACフロア	2.8	発泡複層ビニル床シート	セメントEP20	[Green bar from 1h to 3.5h]								ふくれ
ACフロア	6.0	発泡複層ビニル床シート	セメントEP20	[Green bar from 1h to 6h]								ふくれ
移動荷重用フロア	2.0	単層ビニル床シート	セメントEP30	[Purple bar from 1h to 8h]								ふくれ

※この数値は測定値であり、保証値ではありません。
キャスター: 外径110mm、幅50mmのスチール製
下地: 厚さ10mmフレキシブルボードに荷重床プライマー処理

重量物の走行が頻繁に行われる場所では、一般的なビニル系床材には床材の損傷、ふくれ、剥離等のトラブルが発生する可能性があります。これらのスペースでは、重量物の走行に耐える床づくりを行うための床材および接着剤の選定と、下地の調整や補強等床全般にわたり細心の注意を払う、トラブルを未然に防ぐ必要があります。

試験方法 (JIS A 1454「高分子系張り床材試験方法」の耐キャスター性試験に準拠)

耐キャスター性試験のA法は、A-2法(荷重2000N)に規定する。

なお、耐キャスター性能試験A法は図に示すようなスウィブル軌跡を描く試験方法である。

〈A-2法〉

荷重は2000±10N、直角方向のストロークは390±2mm、その速度は7±0.4回/分、平行方向のストロークは260±2mmで、その速度は1.72±0.1回/分、直角方向と平行方向との速度比率は、4.07±0.03とする。

